

# 最近の愛知県内経済情勢について

(県内経済情勢報告)



令和2年10月


財務省東海財務局

## 1. 総論

### **愛知県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況が残るものの、持ち直している。**

先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、引き続き持ち直していくことが期待される。ただし、感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。

#### 【総括判断】

項目	前回（2年7月判断）	今回（2年10月判断）	前回との比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況が残るものの、持ち直している	

（注）2年10月判断は、前回7月判断以降、10月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### （判断の要点）

個人消費は感染症の影響が残るものの持ち直しており、生産活動は輸送機械を中心に着実に持ち直している。こうしたなか、雇用情勢は弱い動きとなっている。

#### 【各項目の判断】

項目	前回（2年7月判断）	今回（2年10月判断）
個人消費	感染症の影響が残るものの、持ち直しの動きがみられる	感染症の影響が残るものの、持ち直している
生産活動	厳しい状況にあるものの、足下では持ち直しの動きがみられる	着実に持ち直している
雇用情勢	感染症の影響により、幅広い業種で求人減少が続いている	感染症の影響により、弱い動きが続いている

## 2. 各論

最近の愛知県内経済情勢における各項目の動向は、以下のとおりとなっている。

#### （主要項目）

### **個人消費は、感染症の影響が残るものの、持ち直している**

スーパー販売は、内食需要が引き続き堅調なことから、主力の食料品などを中心に増加している。コンビニエンスストア販売は、客数の回復が続いていることから、持ち直している。ドラッグストア販売は、衛生用品や食料品などが引き続き好調であるほか、新規出店効果もあって、増加している。百貨店販売は、持ち直しのテンポが緩やかになっている。家電大型専門店販売は、テレビや調理家電などを中心に増加している。ホームセンター販売は、園芸

用品やD I Y用品が引き続き好調であることから、増加している。乗用車販売は、新型車効果等により持ち直している。

### **生産活動は、着実に持ち直している**

自動車関連は、国内外の需要の持ち直しを受け、生産は増加の動きがみられる。金属工作機械は、国内受注を中心に減少していることから、生産は引き続き減少している。プラグは、増加の動きがみられる。開閉機器、電動機ともに、持ち直している。普通鋼、特殊鋼ともに、持ち直している。

### **雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きが続いている**

求人減少がこのところ下げ止まりつつあるものの、求職者が増加していることから有効求人倍率が低下しており、弱い動きが続いている。なお、完全失業率は低水準である。

(その他の項目)

**住宅建設** — 弱い動きとなっている。

**設備投資** — 2年度は減少見込み。

**公共事業** — 前年を下回っている。

**輸出入(円ベース)** — 輸出は持ち直している。輸入は前年を下回っている。

**企業収益** — 2年度は減益見込み。

**企業の景況感** — 全産業の現状判断(2年7-9月期)は、「下降」超となっている。

**倒産** — 企業倒産件数は前年を上回っている。

## **3. 県内景気に関する地域の声**

- ・ 8月以降は客数の持ち直しに伴う回復が続いており、感染症の再拡大の影響もそこまで見られなかった。9月は特に4連休以降人が動いており、観光地などでは前年比増加の地域もあった。(コンビニ、大企業)
- ・ 自動車メーカーの生産が回復していることにあわせて、工場の稼働率は大幅に回復し、足下ではほぼ前年並みに戻っている。(鉄鋼、大企業)
- ・ イベントが軒並み中止となっていたため、日雇労働者の募集を行わなかった。感染症の動向次第ではあるものの、今後は物産展の拡大や年末商戦に向けて人員が必要になる可能性がある。(百貨店、大企業)

1. 本調査結果に関する問い合わせは下記へお願いします。

財務省東海財務局 経済調査課

Tel(052)951-2632(ダイヤルイン)

2. 愛知県内経済情勢報告は下記ホームページでもご覧頂けます。

ホームページ=<http://tokai.mof.go.jp/>